

令和5年度 第3回学校運営協議会 議事録

日 時 令和5年11月10日(金) 校内見学等 14:30～ 協議会 15:30～16:30

場 所 住吉高等学校 第一応接室

参加者 吾妻幸治 氏 (PTA会長) 岩佐保宏 氏 (モトスミ・オズ通り商店会振興組合理事長)
遠藤哲哉 氏 (同窓会) 岡本専太郎 氏 (神奈川大学化学生命学部教授)
小松英光 氏 (川崎市立住吉中学校長) 外崎 学 (校長)
川島秀生 (副校長) 蠣田美穂子 (教頭) 田中 浩 (事務長)
鈴木吉維 (キャリア活動支援GL) 長戸真紀子 (生徒会GL) 中山和也 (学務GL)
友貞章子 (生活・生徒支援GL) 佐久間健三 (総務管理GL・調査研究GL)

- 次 第
- 1 校内見学 (授業風景・施設等)
 - 2 開会
 - 3 校長挨拶
 - 4 学校評価部会
 - 5 地域連携部会
 - 6 その他
 - 7 閉会

資 料 ・令和5年度学校評価報告書 (中間報告) ・生徒による授業評価概要 (7月実施分)
・令和5年度地域連携に係る実績及び今後の予定について

1 校内見学 管理職案内のもと、委員が校内を見学

2 開会

3 校長あいさつ

- 新型コロナウイルス感染症も落ち着き、学校行事も予定通り (コロナ禍前水準で) 行えた。
- 地域との交流も再開し、チアリーディング部、ダンス部、吹奏楽部などが協力した。
- 進路では総合型選抜、学校推薦型選抜 (公募・指定校) が進行中、結果も出始めている。
少しでも志望する進路先に合格して欲しい。
- 授業を見ていただいたが、以前の教育とは違い、協働して課題を解決することが求められており、それを踏まえた授業展開がなされている。
- 生徒指導では、SNS がらみの問題が散見される。他者の写真を無断でUP するなど感覚が薄い。
- 工事関係では、体育館耐震工事が着工する。8月まで使用できないので、式典、行事、部活動など多方面に協力いただいて実施する。電源容量の増強工事は3月までかかる。外壁も少しずつ塗り直しをしていく予定である。

○今年度の学校運営協議会では、1年間の総括、4年間の総括、次の4年間の目標を協議・承認していただくことになる。

4 学校評価部会

校長の話にもあったように、4年間の総括と、来年度新たな目標（4年間）を策定する。

(1) 教育課程・学習指導について

【学務G】

○(昨年度から)指導と評価の計画を作成している。県に提出したものはコメント等が付いて返信されてきた。修正しながら実施している状況である。

【調査研究G】

○プログラミング教育研究推進校として第3期2年目となり、学校の取組みを「すみプロ」と命名し、教員研修を行っている。一昨日に公開研究授業を1学年9クラスで展開した。次年度、まとめの年になる。

(2) 生徒指導・支援について

【生活生徒支援G】

○コミュニケーションの取り方が身に付いていないことからの悩み、トラブル(SNS等)が目立つ。こまめに支援している。

○今年度からSSWが配置された。外部との連携、背景に対する支援などをアドバイスしてくれている。生徒に関わる職員に報告するとともに、グループ等で共有している。

○今後、さらに課題が出てくると思う。連携して尽力したい。

【生徒会G】

○久しぶりに「お掃除大作戦」が復活した。参加した生徒は楽しそうに取り組んでいた。元々公園内はきれいではあるが、しっかりとゴミを集めてきた。PTAからの「ご褒美」に感謝したい。

○生徒会行事も工夫しながら行っていけるよう検討している。

(3) 進路指導・支援について

【キャリア活動支援G】

○現在、3年生は活動の最中。指定校推薦、公募制推薦でそろそろ面接試験が始まる。

○総合型選抜で受検する生徒は夏休みに呼び出して指導。手を掛けると結果が伴う印象。

○保護者への進路説明会を早い段階で実施する。(3年5月→2年12月)

○卒業生に話を聞く機会を設ける。(2年3月)

○様々なキャリア支援活動を生徒の自己実現にどうつなげるかこれからも模索する。

(4) 地域等との協働について

【総務管理G】

○10月に第1回学校説明会を幸市民館で開催。午前午後ともほぼ満席であった。参加者アンケート回答から、おおむね満足いただけたと思っている。体育館の工事により、校外での開催となったが、学校を見ていただけなかったのは残念である。12月に第2回説明会を幸市

民館で開催する。

【調査研究G】

- HPのリンク切れについては、適宜公開期間更新や、情報の更新を行っている。グループ等各担当がこまめにチェックしてくれている。定期的に県からもリンク切れの連絡が入るので修正している。

(5) 学校管理・学校運営について

【調査研究G】

- 一人一台端末は現2年生の入学時より全県的に導入された（個人負担）。
- 昨年度から試行錯誤を重ねながら、情報を共有し、積極的活用をすすめている。

(6) その他

【調査研究G】

- 生徒による授業評価を資料として配付した。おおむね平均以上の評価を受けており、今後とも改善を重ねていきたい。
- 第2回調査は12月に実施する。3月の会議で再度お示しする。

(7) 各委員より

【遠藤委員】

- 地域の受験生の親に、住吉高校のことを聞かれることがある（ミニスカート等）。今の時代の流れであり、関わってみると昔と変わらない、むしろ昔より悪いことはしない良い子ども達だと説明している。
- 地域の一人としていうと、住吉高校も避難所に指定されており、地域との顔合わせをしたほうが良いと思う。地域に声をかける、地域の人に来てもらうのは学校のためになると思う。もっと地域に知ってもらうのが住吉高校のためになると思う。（→昨年実施した旨説明した。）
- 以前、同窓会で住吉高校の会議室をお借りした。当時のメンバーで何か貢献したいと思うので、また施設借用をお願いしたい。

【吾妻委員】

- 進路について、自分の子どもを見ていると自分の行かれそうな大学の中から選択しているようである。先生に相談すればもっと視野が広がると思う。
- 地域の店舗や商店会の意見を聞くなどの機会があってもよい。また、中学であった保護者の「親父の会」などは高校でも力を発揮したいのではないか。そのようなシチュエーションがあれば、積極活用してほしい。

【岩佐委員】

- 本日、プログラミング教育の授業を見て、すごく良い取り組みをしていた。社会の受け入れ側もしっかりしなければと思った。
- 「お掃除大作戦」も良い取り組みである。

○授業評価の英語での評価1の割合が気になる。

【岡本委員】

- 大学も高校も文部科学省から、新カリや新しいフォーマット（評価法）などの難題が下りてきて、厳しい状況にある。
- SCやSSWなど綿密でよい。大学でも、コロナ関係で自己表現がうまくない学生が多くいる。意見や感情を出すのが怖いようだ。バーチャルでは表面上仲が良いがリアルになると……。コロナも収束しだんだん解消されていくのでは。
- 鬱の比率やジェンダーの比率が上がっている。呼称にもこだわる者もあり、人権感覚をフラットにしていかなければならない。
- 進路関係では、入試の種別により追跡調査をしている。指定校での入学生を一般入試入学制と比べると、遜色ないかそれ以上の出来。総合型や公募などは学科ベースで実施しているので、こうすればOKという答えがない。大学としては学習成績と学習習慣がしっかりしている生徒を求めている。
- 神奈川大学では出前授業も可能なので、キャリア支援の場面で活用して構わない。

【小松委員】

- 昨年度の卒業式、今年度に入ってから体育祭、合唱コンクールを拝見した。住吉中学で外崎校長に進路について講話をいただいた。また、住吉高校の新採用の教員が研修で訪問してくださり、中学校としても良い機会となっている。
- コロナ禍以降、長欠の生徒が増えている。コミュニケーションや自己発信がうまくいかない子も増えている。中学校としても取り組んでいる最中である。コロナ禍を機会に情報端末も配備されたが、使用状況は学校によりまちまちである。
- 高校の生徒支援体制は公立中学校にとってたいへん参考になる。
- 隣接の学校同士、交流を増やしていただきたい。なお、今年中に中学校でもコミュニティスクールの発足をさせる。ご協力いただきたい。

5 地域連携部会

評価部会の説明の中で、地域連携についても説明しており、報告にかえさせていただく。

6 その他 なし

7 閉会

以上